

2020年12月28日

<各位>

ナノキャリア株式会社
代表取締役社長 松山 哲人
(4571 東証マザーズ)
問合せ先 IR担当 土屋 千映子
電話番号 03-3241-0553

mRNA 医薬に関する国立研究開発法人日本医療研究開発機構 (AMED) 事業への採択について

当社プラットフォーム技術であるmRNAデリバリーを活用したプロジェクトについて、日本医療研究開発機構 医療研究開発革新基盤創成事業 (CiCLE) *¹に採択されましたのでお知らせいたします。尚、このプロジェクトは国立大学法人東京医科歯科大学の位高啓史教授との共同で進めていくものです。

課題名： mRNA医薬を用いた変形性関節症 (OA) に対する革新的な機能維持治療法の開発
代表機関： アクセリード株式会社*²

※アクセリード株式会社とナノキャリア株式会社は合併新会社を設立予定です。

新会社設立後は新会社が代表機関となります。

概要： OAに対する早期介入治療薬の創製を目指し、軟骨の分化・増殖転写因子RUNX1*³の mRNA/ナノミセル製剤の製造法確立および非臨床試験実施 (新会社)、医師主導による第I相臨床試験を行い、mRNAを応用した新規治療法のfeasibility、安全性、第II相試験の至適用量を決定する

<本事業の意義>

mRNA医薬は潜在的な応用範囲の広い新しい創薬モダリティで、その威力は今回のCOVID-19ワクチンの開発で明確に示されました。ワクチンの臨床試験は欧米ベンチャー企業が先行していますが、ワクチン用途以外の治療用mRNA医薬はまだ世界でも数例の臨床試験実施例があるのみです。本事業は東京医科歯科大学、東京大学の研究成果を活用することで、世界でも初めてのmRNA医薬による関節軟骨の治療を目指すものです。変形性関節症 (OA) は有症の患者数が国内で1000万人以上あり、高齢化に伴い今後も患者数のさらなる増加が予測されています。本mRNA医薬を実用化することにより、現在対症療法が中心のOA治療に、軟骨変性抑制を目的とする早期治療介入の選択肢を提供できます。

尚、本件による2021年3月期の業績への影響はございませんが、新しいモダリティであるmRNA医薬の実用化に向けた活動を推進し、再生医療領域において、国産技術による新たなマーケットを創出し、mRNA医薬の新たな価値を創造してまいります。



＊ 1：日本医療研究開発機構（AMED）医療研究開発革新基盤創成事業（CiCLE）

本事業は、産学連携により、我が国の力を結集して行われる医療現場ニーズに的確に対応する研究開発の実施や医薬品、医療機器、再生医療等製品、医療技術等の実用化の加速化等が抜本的に革新される基盤（人材を含む）の形成、医療研究開発分野でのオープンイノベーション・ベンチャー育成が強力に促進される環境の創出を推進することを目的とします。

日本医療研究開発機構（AMED）採択発表：

https://www.amed.go.jp/koubo/saitaku_index.html

公募概要説明資料：

医療研究開発革新基盤創成事業（CiCLE：Cyclic Innovation for Clinical Empowerment）第5回

<https://www.amed.go.jp/content/000061015.pdf>

=====

＊ 2：アクセリード株式会社

代表取締役社長 藤澤朋行

設立 2020年4月

Axcelead Drug Discovery Partners 株式会社（Axcelead社）の持株会社です。

Axcelead社は、2017年7月に武田薬品工業株式会社の創薬プラットフォーム事業をスピンアウトして設立された国内初の創薬ソリューションプロバイダーです。

<https://www.axcelead.com/news/20200401.html>

=====

＊ 3：RUNX1（runt-related transcription factor 1）

軟骨誘導に働く転写因子。Runx 遺伝子ファミリーに属する RUNX1 遺伝子によってコードされます。CBFβ（core-binding factor subunit beta）とヘテロ二量体を形成し、DNA と結合して転写を制御します。造血系の分化における機能が知られていますが、近年軟骨形成にも深く関与することが明らかとなっています。

以上